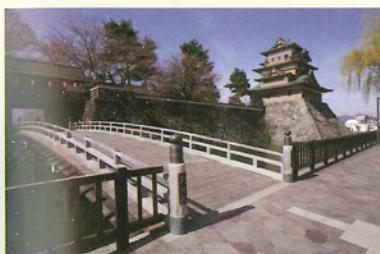




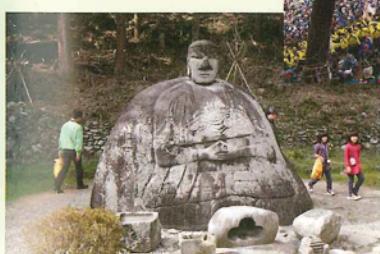
諏訪湖全景



高島城（諏訪市）



諏訪大社上社本宮の御柱。5月には新しい御柱に建て替えられる



万治の石仏（下諏訪町）



「木落とし」を見物する大観衆

グラビア

2 若者の定住対策と結婚支援

46 都道府県漫遊●埼玉県

47 手前みそですが…●大阪府枚方市



「木落とし坂」の上に突き出した御柱と氏子たち

殿の四隅に建てる一連の行事だ。今年の御柱祭は、四月二～四日に上社山出し、九～十一日に下社山出しが行われた。春宮・秋宮の社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える行事で、正式名は「諏訪大式年造営御柱大祭」。県の無形民俗文化財で、山から切り出した計十六本の御柱を氏子たちが人力だけで四社まで曳行し、各社殿の四隅に建てる一連の行事だ。

御柱祭後半の里曳きは、上社が五月二～四日、下社が同八～十日に行われる。

●文=原田 ●カメラ=小形又男

諏訪地方でかぞえの七年ごと、寅と申の年に行われる御柱祭。日本の三大奇祭の一つともいわれ、今年がその年。四月の「山出し」から五月の「里曳き」まで、諏訪地方は祭りの熱気で包まれている。

諏訪大社の四社（上社本宮・前宮、下社春宮・秋宮）の社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える行事で、正式名は「諏訪大式年造営御柱大祭」。県の無形民俗文化財で、山から切り出した計十六本の御柱を氏子たちが人力だけで四社まで曳行し、各社殿の四隅に建てる一連の行事だ。

今年の御柱祭は、四月二～四日に上社山出し、九～十一日に下社山出しが行われた。春宮・秋宮の社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える行事で、正式名は「諏訪大式年造営御柱大祭」。県の無形民俗文化財で、山から切り出した計十六本の御柱を氏子たちが人力だけで四社まで曳行し、各社殿の四隅に建てる一連の行事だ。

御柱祭後半の里曳きは、上社が五月二～四日、下社が同八～十日に行われる。

●文=原田 ●カメラ=小形又男